

講義科目 : 社会福祉行財政論	単位数 : 2
担当 : 宮川 一夫	学習形態 : 選択科目
社会福祉士必修科目 (69・68・67期生)	

講義の内容・方法および到達目標

- ・日本の総人口が減少する中、少子化が進むとともに、急速に高齢化が進んでいる。このような状況の中、保健福祉サービスのニーズの増大、社会福祉の担い手の減少、社会保障関係費の増嵩など、著しく変化していく社会情勢を知り理解することは生活するうえで大変重要である。
- ・福祉専門職の多くは、社会福祉現場における個別援助に従事すると考えられるが、その基礎となる法制度や財政の仕組みを知っておくことにより、今後の社会環境の変化に的確に順応していけるようになることを目標にする。

授業計画

- ・以下の計画で進めていくが、講師自身が、実際の社会福祉行財政現場においてやってきたこと、経験してきたこと、どのように社会環境の変化に対応してきたかということ等を話すとともに、ゲストスピーカーにも来てもらう等分かりやすい講義にしたい。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 社会福祉の概念とその変遷 ～ 世の中には色々な人が
- 第3回 社会福祉制度の展開 ～ 戦後復興・超高齢社会への対応
- 第4回 福祉財政の動向 ～ 福祉を進めるためのお金
- 第5回 福祉行政の構造 ～ 福祉サービスは身近なところで
- 第6回 社会福祉基礎構造 ～ その人らしく
- 第7回 福祉援助の実施・提供機関 ～ 児童相談所の現場は
- 第8回 福祉の実施・提供機関 ～ 社会福祉協議会は民間組織
- 第9回 福祉計画の目的と意義 ～ 目標を持って
- 第10回 高齢者福祉と老人福祉計画・介護保険事業計画 ～ 2025年
- 第11回 障害福祉と障害者計画・障害福祉計画 ～ 私たち抜きで決めないで
- 第12回 児童福祉と次世代育成支援行動計画 ～ 子どもは社会の宝
- 第13回 母子寡婦福祉とDV防止法 ～ デートDV知ってますか
- 第14回 地域福祉と住民参加・まちづくり ～ 高福祉は高参加で
- 第15回 まとめ、レポートについて

教材・テキスト・参考文献等

- ・授業は、講師作成のレジュメにより進める。
- ・参考文献等は、社会福祉士養成講座編集委員会「福祉行財政と福祉計画」中央法規や下記の行政組織のホームページのほか、授業において別途紹介する。

厚生労働省： 厚生労働白書

財務省： 日本の財政関係資料、
財政学習教材「日本の財政を考えよう」

三重県： みえ高齢者元気かがやきプラン、
みえ障がい者共生社会づくりプラン

成績評価方法

- ・レポート（40%）及び出席回数（60%）として評価する。
10回以上授業に出席しないと評価の対象外とする。